



第3回中央港湾団交開催！

第3回中央港湾団交が3月24日13:30より開催された。1都3県での緊急事態宣言は解除されていたが、前回同様、人数を絞っての交渉となった。組合側は団交開催前に全国港湾玉田書記長より3月16日、22日とで行われた事務折衝の経過報告を受け、団交へと移った。冒頭、業側労務委員長より、「第2回中央港湾団交で組合側からご指摘のあった項目について修正をおこなった」旨の発言があり、第2次回答の提示があった。（詳細は全国港湾FAXを参照）

「全項目に対し追加修正を要求！」

組合側は出された回答について検討を行うとして、休憩を申し入れ内部検討をおこなった。そこでは、「認可料金制度復活に向けたプロジェクトチームでの目的を明確にすべき」や「石炭問題は政策が明らかになってからでは遅い、日港協は港湾の事業者団体として責任を持つべきだ」等の意見が出された。再開後、全国港湾柏木委員長より、「修正の事実は受け止めるが、各項目とも小委員会や専門委員会での協議となっている。しかし今までのように小委員会で協議することをもって今春闘の解決とはならない」として業側に再考を求めると同時に参加者からの発言を求めた。5名の参加者より力強い再検討の意見を受けた業側は「再考する時間と各委員会の開催の調整が必要」として次回団交に日程及び場所は事務局間での調整として交渉を終えた。